

科目区分	教養科目	授業科目名	心理学			科目コード	23S007	担当者	小槻 智彩			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科 栄養士コース	配当年次	2年次	開講学期	後期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	社会福祉主事任用資格		
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目		該当	実務の経験内容及び科目との関連		公認心理師・臨床発達心理士として自治体の母子保健事業や大学附属心理教育相談室における相談業務に従事した経験に基づき、心理学について授業を行う。					科目に含めることが必要な事項			

授業の主題	人間の心の基本的な仕組みと働きについて学び、自己理解と他者理解を深める。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	授業前課題とミニッツペーパーに記入された内容や質問を授業内で紹介し、コメントや回答を行う。
授業の方法	パワーポイントスライドを使用した講義形式を基本とする。 受講生には教員が作成した授業資料を配布する。 受講生は授業前課題を行い、毎回の授業の最後にはミニッツペーパーを提出する。	アクティブ・ラーニングの実施方法	授業内容の理解を深めるために、受講生は授業前課題として心理に関わる自分自身の経験をまとめる。 授業内容の振り返りを行うために、受講生は毎回の授業の最後にミニッツペーパーを提出する。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	心理学とは：目に見えない心の科学	事前：人間の心に関わる自分自身の経験についてまとめる。 事後：人間の心に関わる経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。	第9回	発達	事前：授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後：事前学修でまとめた経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。	
第2回	感覚と知覚	事前：授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後：事前学修でまとめた経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。	第10回	発達障害	事前：発達障害に関する経験やこれまでに見聞きしたことをまとめる。 事後：発達障害に関する経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。	
第3回	注意と記憶	事前：授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後：事前学修でまとめた経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。	第11回	脳・神経の働き	事前：授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後：事前学修でまとめた経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。	
第4回	思考と意思決定	事前：授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後：事前学修でまとめた経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。	第12回	精神疾患	事前：精神疾患に関する経験やこれまでに見聞きしたことをまとめる。 事後：精神疾患に関する経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。	
第5回	学習と言語	事前：授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後：事前学修でまとめた経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。	第13回	心理に関する支援	事前：心理支援に関する経験やこれまでに見聞きしたことをまとめる。 事後：心理支援に関する経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。	
第6回	感情と人格	事前：授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後：事前学修でまとめた経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。	第14回	様々な領域における心理学（1）：健康・医療、福祉	事前：授業で扱う領域と関わる心理学について自分の考えをまとめる。 事後：自分の経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。	
第7回	自己と他者	事前：授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後：事前学修でまとめた経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。	第15回	様々な領域における心理学（2）：教育、司法・犯罪、産業・組織	事前：授業で扱う領域と関わる心理学について自分の考えをまとめる。 事後：自分の経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。	
第8回	社会と集団	事前：授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後：事前学修でまとめた経験について、授業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	教科書は使用しない。授業ごとに教員が作成した資料を紙媒体または電子ファイルで配布する。	受講生へのメッセージ	人間の心の基本的な仕組みと働きを知ることで自分についての理解や他者についての理解を深めることができます。みなさん自身の経験と結びつけながら心理学の基礎知識を身に付けましょう。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

